



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2011年（平成23年）2月15日号 No. 1520

目次

■ 独口商工会議所のロシア進出企業支援	芳地 隆之 1
■ 統計速報	7
ロシアの地域別の2010年鉱工業生産指数 / 7	
■ トピックス	8
東芝が濃縮ウラン販売でロシア社と合併検討 / 8	
ウズベクとの貿易投資拡大に向け文書署名 / 8	
JOGMECがウズベクでウラン・希少金属探査へ / 8	
JOGMECがウズベクネフチェガスと追加基本合意書 / 8	
伊藤忠、ウズベクでウラン精鉱売買契約に合意 / 8	
三井住友銀、ウズベク国営銀と提携 / 9	
ウズベキスタンとの経済合同会議 / 9	
■ エトセラ	9
ミニ講演会「タジキスタン経済の現状と外国投資環境」のご案内 / 9	

独口商工会議所のロシア進出企業支援

ロシアNIS経済研究所

芳地 隆之

はじめに

ドイツはロシアにとって最大の貿易相手国である。しかしながら2008年秋の経済危機の影響を受けて、2009年の対ロ貿易は激減。2010年には持ち直したものの、同年は中国にトップの座を譲ると予測されている。とはいえ、ドイツ経済界の対ロ貿易・投資の今後に対する見方はポジティブだ。ロシアに進出するドイツ企業を側面支援する在モスクワ独口商工会議所が2009年秋に会員企業向けに行ったアンケートによると、自社のロシア事業の将来を「楽観的に見ている」（16%）、「やや楽観的に見ている」（30%）と「先行き不透明」（22%）、「悲観的に見ている」（24%）が拮抗し、2010年に同様のアンケートをとったところ、前者が後者を上回った。今号では2010年12月に在モスクワ独口会議所において行ったヒアリングを基に、同会議所の活動内容ならびにロシアにおけるドイツ企業の動向を紹介したい。